

令和7年度 牧之原市立相良小学校 学校評価

校長名	櫻井 真弓
-----	-------

1 昨年度の成果と課題

○仲間と協力して新しい活動に取り組もうとする。	●相手の立場や気持ちを考え「温かなかわり」ができる。
○諦めずに考える力がついてきている。	●他者との対話を通して学びを深める授業づくり。
○自分の気持ちを言えるようになってきている。	●自分を律し、正しい判断ができる。

2 本年度の基本方針(経営の重点)

1 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をはかる」授業づくりをめざす。
2 「自己理解・他者理解」力を基にした自己肯定感の育成をめざす。
3 キャリア教育を軸とした小中一貫教育を見据えた教育活動を推進する。
4 地域・保護者との連携により、信頼される学校をめざす。

3 具体的な取組

目標	具体的な取組	成果目標	評価	成果と課題
○「個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る」授業づくりをめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学びの場を設定する。 ・学びの手引きを使った授業。 ・「話し方・聴き方」スキル表を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学びの場を設定した授業 80%以上 (教師) ・学びの手引きを使った授業 ステージに1回以上 	A	授業では、協働的な学びの場を意識して設定した(100%)。また、学びの手引きを作成して単元を通して学びを調整する子供の姿を見ることができた。
○「自己理解・他者理解」力を基にした自己肯定感の育成をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級で SST を実施する。 ・かがやきみつけで価値づけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SST をステージに1回以上 ・「自分にはよいところがある」85%以上 ・「相手を考え温かなかわりができる」75%以上 (児童) 	B	よいところは 88%、温かなかわりは 72%という児童の評価から、自己肯定感の高まりが見られる。さらに他者意識をもって温かなかわりをもつための取組を実施したい。
○キャリア教育を軸とした小中一貫教育を見据えた教育活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・個人・学級のめあてをもち、実践する。 ・小中、小小の交流授業実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なりたい自分に向けて実行する」75%以上 (児童) ・交流授業を年2回以上 	B	なりたい自分は 66%であり、めあてを実行に移し継続する難しさを感じた。スモールステップで達成感を味わえる手立てをとりたい。
○地域・保護者との連携により、信頼される学校をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材が積極的に学校運営に参画する。 ・学校の活動を広く広報する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材が活動に協力した延べ人数 100人以上 ・HP 毎週更新 ・スマイルカフェ年2回実施 	A	ボランティアとして学校を支えてくださった方は、150人を超えている。HP やカフェなどを通して発信に努めており、さらに保護者との連携を図る工夫を考えていきたい。

